

税金を高いと思うのは私たちのせいかも

市川市立第六中学校 3年 浅川 心奈

私はこの課題が出された時、何を書けばいいかまったくわからなかった。そこで最初は無税の国について書こうと思った。しかし政治に関する知識がなく理解できなかった。そこで、まずは政治のことを知るべく図書館で池上彰さんの『14歳からの政治入門』という本を借りて読んだところ、とても興味深い話が載っていたので、そこからテーマを考え書くことにした。

そのテーマは税金が高いのは若者が政治に関心がないから、だ。これを興味深いと思った理由をデンマークと比較して考えた。デンマークは消費税が25%ととても高い。しかし物価も日本より高いのにデンマーク人は誰も消費税が高いとは言わないそうだ。そしてその理由こそが政治への関心の違いにつながってくるというわけだ。

私はその違いは大きく二つあると思う。一つ目は税金の使われ方だ。デンマークでは、医療費、教育費は無料。そして大学生には毎月7万円支給されるという制度もある。日本とは違い、若者のために多く使われているように思う。二つ目は選挙だ。デンマークでは大学生から高齢者まで色々な人が選挙に行く。大学生なんかは選挙に行ったあとコーラやピザを持ち寄りテレビの選挙特番を見るそうだ。そして自分が支持している政党が伸びるか、自分が投票した人が当選するか、などで大騒ぎする。日本はそんなことないし、むしろ若者の投票率が高齢者に比べ低いくらいだ。

ここまで知って私は日本の若者が政治に関心がなさすぎるのが税金を高いと思う理由だと考えた。デンマークが若者に多く税金を使うのは若者が政治に関心があるから。しかし日本の若者は政治に関心がないから、政治家も若者のために税金を使おうとは考えない。つまり、政治を知らないだけで日本の若者はどんどん不利な社会で生きていくことになってしまうのだ。デンマークは消費税が高い代わりに若者への制度が充実している。そして国民も高い税金を出すかわりに政治に関心を持つのだ。

これからの日本人、特に若い人は選挙に行くなど政治と税金に関心を持つべきだと思う。税金が高いのは政治家がそうしているのではなく自分が政治に関心がないために政治家も若者に関心がなくなっていることを知るべきだ。税金が高いと思っけていてもそれは自分たちがよく知ろうとしていないだけで例えば医療費も教育費もその多くは税金でまかなわれている。でも、もっと若者にもメリットがある制度がほしいから自分で理解して政治家に自分の意見を伝えられるようになりたい。だから公民の授業をしっかり受け、ニュースを見るようにするなど税金のことを知るために政治にも関心を持つようにしたい。そして税金の使い道について、自分の考えをもてるようにしたい。